

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が85%以上である。	本校の特性を生かした教育活動と個に応じた支援・指導を展開する。創立20周年記念事業を通じ母校愛を育み、学校の活性化を図る。					
		② 「自ら考え、判断し、行動できている」と感じている生徒が80%以上である。	授業や部活動、学校行事等のあらゆる場面で、多様な個性や価値観を認め合い、生徒が自ら判断し行動できる機会を設ける。（②・③共通）					
		③ 「多様な個性や価値観を認め、他者を思いやれている」と感じている生徒が80%以上である。						
		④ 完全な単位制の履修形態に満足している生徒・保護者が95%以上である。	個々の生徒の適性や卒業目標(3年卒業・4年卒業)、進路目標に合わせた個別指導を適宜行う。					
		⑤ 学年・学級がない中で、生徒の出席率が80%以上である。	連絡のない欠席者の保護者へ必ず連絡を行う。欠席が増加・連続傾向にある生徒について、早めに保護者との面談の機会を持つ。					
		⑥ ゼミ(総合的な探究の時間)の活動や学校設定科目の内容に満足している生徒・保護者が90%以上である。	主体的かつ探究的に活動(エージェンシーの発揮)させるため、職員研修を実施するなど、指導者のスキルアップを図る。また、生徒の現状に応じて、必要な学力が身に付くように、指導内容や授業展開を工夫する。					
		⑦ 外国籍や日本語を母語としない生徒に対する日本語指導体制に満足している生徒・保護者が90%以上である。	日本語指導支援員や外部団体、県貸与の機器(多言語通訳機)などを活用して、外国人生徒等の包括的支援体制を確立する。					
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑧ 少人数制の授業(形態や内容)に満足している生徒・保護者が95%以上である。	少人数制授業のメリット(主体的な学び・失敗から学ぶ)・デメリット(多くの他者との共感や理解を深める)を再確認したうえで、授業展開にバリエーションを持たせる。					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑨ 学力が向上したと感じている生徒が90%以上である。	思考力・判断力・表現力を育む指導、探究の過程を重視した授業、適切な評価等の工夫と実践を行う。					
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑩ SNSに関わるトラブルに巻き込まれることなく、健全な学校生活を送っている生徒が100%である。	SNSに頼らない人間関係づくりによるトラブルの予防や日々の生徒の観察をより徹底し、適宜指導する。					
		⑪ 挨拶の励行や学校生活の中でのマナーや礼儀を守った行動ができている生徒が90%以上である。	生徒間・生徒と教員間の温かい人間関係を基に、TPOをわきまえた節度ある行動をとれるように指導する。					
		⑫ 交通マナー・交通ルールを遵守している生徒が90%である。	自分の身は自分で守るという意識を高めつつ、交通マナー・交通ルールを守る必要性を繰り返し指導する。					
		⑬ 教育相談が充実していると感じている生徒が80%以上である。	異変時はすぐに管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等に報告・連携し、個々の生徒への支援を組織全体で行う。					
		⑭ 体育的学校行事に生徒の70%以上が参加し、参加者の90%以上が満足している。	行事の意義理解と健康管理など、生徒への事前指導を充実させるとともに、当日は生徒の的確な観察と支援を行う。					
		⑮ 学校行事フレックス発表会に満足している生徒が85%以上である。	ゼミ活動や探究活動において、他者に伝えたり、他者に評価される機会をこれまで以上に設定する。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑯ 「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が85%以上である。	日々の観察と定期的アンケートにより状況を把握し速やかに対応する。集会等によりいじめ防止の啓発を行う。職員打合せなどで、生徒情報を共有する。					
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑰ 感染症予防について正しく理解し、実践する等、健康について自己管理ができている生徒が80%以上である。	『保健だより』による感染症予防や生活リズム等の広報活動を促進し、自主的に健康づくりができるようにする。					
	7 計画的な指導を行っていますか。	⑱ 進路指導が自分の進路検討や進路決定に役立つと感じている生徒が90%以上である。	進路関係諸行事のさらなる充実と適切な情報提供に加え、こまめに個別アドバイスをを行う。					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑲ 進路目標を持ち、その実現に向けて努力している生徒が80%以上である。	早期に卒業後の進路を意識し、モチベーションを維持できるように指導する。卒業予定者に対するゼミ活動を充実させる。					
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳ ICTを活用した情報発信に満足していると評価する保護者が90%以上である。	保護者のニーズを的確に把握した上で、一斉メール・ホームページ等を活用した情報発信を行う。					
		㉑ 学校説明会や授業公開、中学校訪問など、外部に情報発信する機会を年間20回以上設けている。	学校案内等の説明資料を充実させ、ホームページも定期的に更新し、本校の魅力を積極的に発信する。年間300人以上を個別の授業見学で受け入れる。					
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉒ ICTを活用した授業に、生徒の90%以上が満足している。	Chromebookを活用し授業内容の充実を図る。職員間の情報共有にオンラインを活用する。					
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉓ 職員間の情報共有にオンラインを活用している。	オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率化を図る。					